

事前復興で守る宇和島の未来

三瀬舞彩 永樂莉紗子 宮本彩葉
戎優利 岡崎美都姫 和賀山花暖

1 研究の背景

沿岸部に位置している宇和島市は津波被害が大きいと予想されるため津波による人的被害を最小限に抑えるために事前復興が効果的と考え、宇和島市の事前復興について研究することとした。

2 事前復興案

より迅速に安全に避難できる避難経路の設定

東日本大震災と予想される南海トラフ巨大地震の津波到達時間の比較

東日本大震災 岩手県大船渡市最大の高波
地震発生から32分後…8.0m以上
南海トラフ巨大地震 予想最大の高波
太平洋沿岸の広い地域で10m以上

4 今後の課題と取り組み

3 研究の手法

指導教員 大熊宏

- ・できるだけ危険でない避難経路を設定した。
- ・海から最も近い水産高校をスタート地点とした。
- ・どこが一番近くて安全な避難場所であり、避難経路かを調べた。

水産高校～宇和島城 ①(走り)	07:04.22
水産高校～宇和島城 ①(歩き)	13:50.93
宇和島城～南予文化 会館(走り)	05:02.78
宇和島城～南予文化 会館(歩き)	08:25.78
水産高校～宇和島市 立病院(歩き)	16:13.82
水産高校～宇和島城 ②(歩き)	18:08.94
児島惟謙銅像～宇和 島城頂上(歩き)	09:25.84



Go- Proを使った、避難経路の撮影や快適で安全な避難所づくりを今後の取り組みとして調べていきたいです。